

# 石巻市立釜小学校

2014年 12月 19日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)  
北林 雅洋(香川大学教育学部)

## 【文献】

- (1) 「東日本大震災における学校の対応-釜小学校-」宮城県 東日本大震災に係る教育関連記録集  
<http://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/12391.pdf>

## 【場所】

石巻港から約1.3km、北上運河から約70mの位置にある。  
住所:宮城県石巻市大街道西2丁目5-1



## 【東日本大震災による被害】

津波により校舎1階が浸水。

## 【震災当日の様子】

地震が起こった時、第一次避難として、児童は机の下に身を隠した。第二次避難として、校内放送で校庭に避難の指示を出し、校庭で余震がおさまるのを待っていると、雪が降り始めた。保護者が児童を引き取りにき始めたので、引渡しを許可した。校内放送はこれを最後に、停電のため使用ができなくなった。雪と寒さが気になり、体育館へ移動し、引渡しを行った。体育館には、すでに地域住民が避難を始め、集まり始めていた。そのうち、「陸前高田で10メートルの津波、……、高台へ避難してください」と言うラジオの情報を聞いた職員の話から、尋常ではない津波が発生していることを知り、学校長は校舎3・4階への第三次避難を決断した。低学年(掃除で残っていた児童や放課後児童クラブにいた児童)から順に、通路を通過して避難を開始した。避難中、体育館わきの畑からゆっくりと津波が押し寄せてきた。児童が避難し終えてから、近隣の避難者に避難してもらい、最後に担任以外の職員が腰まで水につかりながら避難した。駐車場に避難していたデイスサービスのワゴン車から人を強制的に避難させる出来事もあった(1)

## 【調査して言えること】

学校は海から約1.3km離れているが、標高が1.2mで北上運河から約70mという位置にあり、地震の際に津波を警戒した避難の必要な学校である。

学校の周囲に山や高台は無く、学校外への避難は難しい。



西から見た学校(2014/3/18撮影)



学校と北上運河の位置関係(2014/3/18撮影)